



東松山市立東中学校 9月号 令和7年9月2日 生徒数465名

〈学校教育目標〉

共に

学び

伸ばし

想像し、創造する 生徒

若萌えの学舎

『学校はみんながしあわせになる場所』

「 充実の2学期に 」

校長 細野 敦

夏季休業中は「猛暑日」が日常となったような気候が続き、ご家庭でも熱中症等に留意しながらの毎日であったかと思います。暑い中、生徒たちは部活動やボランティア活動、しらさぎ祭準備など、本当によく頑張っていました。これも、ご家庭での健康管理・ご協力あってこそのことと思います。諸活動へのご理解・ご協力、誠にありがとうございました。

さて、物事の習得の3つの段階を表す言葉として「守破離(しゅ・は・り)」というものがあります。その由来には諸説あるようですが、武道や芸能の分野で使われることが多い言葉です。短く説明すると、「守」は基本を守る段階。「破」は基本を身につけた上で、殻を破り自分なりの工夫をする段階。「離」は基本型から離れ、自分なりの型を生み出す段階とされます。この言葉、「学習の習熟」や「人としての成長」の過程にも当てはまるものだと思います。そのように考えると、今の学年の生活にも慣れ、落ち着いて過ごすことのできる2学期は、この「守」と「破」を行き来しながら力を伸ばしていく時期と捉えることができます。今学期は「しらさぎ祭」「合唱コンクール」「生徒会本部選挙」「新人戦」と生徒の活躍・成長が期待できる行事も多くあります。また、期間も長く、学習に落ち着いて取り組める学期でもあります。学校でも生徒が1学期に身に付けてきた基本の上に、2学期更に成長できるよう指導してまいりますので、ご家庭・地域の皆様におかれましても、何卒、1学期と変わらぬご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。

「 校則の一部変更について 」

年度途中ではありますが、校則について一部見直し、試行することとしました。髪型については生徒会本部からの提案もありましたので、その提案も含めて検討しました。なお、生徒には変更内容等について始業式後に生徒指導主任より伝えていきます。検討の観点としたのはLGBTQ等への配慮、また時代に即したものになっているか、学校生活に支障がないかという点です。いくつか例をあげると、「髪の長さについて、男女の表記を削除」「ハーフアップを可とする(髪が肩にかかる場合にはハーフアップにしない。結ぶ位置は目よりも下にする。)」(旧)極端に横と上の髪の長さの差がある髪型にしない→(新)奇抜な髪型にしない。等です。これまでの校則よりも緩やかになりました。その中の「奇抜」の捉え方は人によって幅があり、中々難しいと思います。「自分にとってはどのような髪型も奇抜ではない。」極端ですが、そう考えることもあるかもしれません。しかしながら、学校は多くの人が生活する場であり、学習する場です。「周囲にその髪型のみが注目を集めるような髪型や、手入ればかりに意識が行くような髪型はやはり適切ではない。」そのような判断をしながら、時と場に応じた身だしなみとはどのようなものかを考えられるようになってほしいと思います。

その他の変更

- ・「触角とよばれる髪型にしない」→(変更後)文言を削除
- ・「靴下は、白、紺、黒」→(変更後)「靴下は、白、紺、黒、グレー」
- ・「ストッキング、タイツはベージュ(黒いタイツはなし)」→(変更後)「ストッキング(つまさきまである)、タイツ(つまさきまである)、レギンス(くるぶしまでのもの)はベージュまたは黒 無地で光沢のないもの 体育や運動の際には脱ぐ」
- ・「インナーは黒・紺・グレーで見えないように着用する」→(変更後)「インナーの色は黒・紺・グレー・ベージュ・白を基本とし、見えないように着用する」 ※冬季防寒用インナー
- ・「お団子(シニヨン)はなし」→(変更後)「お団子(シニヨン)を認め、目の高さより下に結ぶ お団子(シニヨン)から髪の毛がたれさがらないようにしっかりと結ぶ お団子(シニヨン)は1つだけにする」

「東京2025世界陸上」

9月15日(月)に行われる男子マラソン競技(競技開始時刻 午前8時)に、本校の卒業生である吉田祐也選手が出場します。吉田選手は大学時代の監督から「チーム史上、最も練習を積む選手だった」と評され、その後、所属する実業団の監督からも「黙っているといつも練習をしている。むしろ練習をやめさせることが私の仕事」と語られたほどの努力家です。これまでもその活躍で、努力することの素晴らしさを見る者に教えてくれました。本校出身という身近に感じることができる選手が世界に挑む姿を見られる貴重な機会となります。是非、注目・応援してほしいと思います。

学校総合体育大会県大会・関東大会 結果

・卓球女子シングルス ○○ ○○ 県大会ベスト8(埼玉県第7代表)

関東大会出場(8月10日 所沢市民体育館)

関東大会結果

1回戦 対 神奈川県代表 3-1 勝利 2回戦 対 東京都代表 0-3 惜敗



上記の他にも、入賞にはいたりませんでした。各地区の激戦を勝ち抜いた代表のみが参加できる県大会において、サッカー部、女子卓球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、本校から出場したすべての団体競技で初戦を突破。中でも男子バスケットボール部、女子バスケットボール部はともに県ベスト16という堂々たる結果を残しました。また、陸上部、卓球男女シングルス、水泳、バドミントン、新体操の各選手も大きな舞台で活躍しました。

第63回埼玉県硬筆中央展覧会 審査結果

1年 ○○ ○○ 埼玉県書写書道教育連盟賞

2年 ○○ ○○ 優良賞

3年 ○○ ○○ 特選賞

第66回埼玉県吹奏楽コンクール地区大会

中学生Bの部「いつも風 巡り会う空」

銀賞(8月2日 所沢市民文化センター)



10月の主な予定

※予定は変更となる場合があります

10/2	木	中間テスト1日目	20	月	後期時間割開始
3	金	中間テスト2日目	23	木	合唱コンクール(14日学年リハーサル)
6	月	水泳授業(1年)	24	金	後期教育実習終了
7	火	後期専門委員会決め 生徒会引継式	27	月	全校三者面談
8	水	新人体育大会県大会(陸上)	28	火	全校三者面談
9	木	新人体育大会県大会(陸上)	29	水	全校三者面談
10	金	挨拶運動・登校指導	30	木	全校三者面談
16	木	比企地区駅伝競走大会(17日予備日)	31	金	全校三者面談

※11月1日(土)スリーデーマーチ全校生徒参加、11月4日(火)が振替休業日となります。